

# 神戸地本「2025年安全を誓う新春の集い」を開催

今年も安全最優先の取り組みを誓い合う！



主催者を代表して 挨拶する大内委員長

JR西労組神戸地本は、1月10日(金)、神戸三宮東急REIホテルにおいて、「2025年安全を誓う新春の集い」を開催し、神戸地本管内の各級機関の代表者、中央本部、神戸地本エリアに関わる地方議会議員、友誼団体等、総勢120名が集まり、1年間のJR西労組神戸地本の躍進を誓い合った。

主催者を代表し、大内委員長は、目まぐるしく変化化する労働環境の中、年末年始輸送の完遂に向け、昼夜を問わず安全安定輸送を守り続けている全ての西労組組合員に心から感謝と敬意を表し、安全、会社の状況、政治について挨拶を行った。

安全については、福知山線列車事故から今年で20年を迎えるが、事故後入社だけでなく事故後に生まれた組合員もいる中、加害企業の責任組合として事故の風化防止や我が事として学ぶことができる取り組みを進



角部長



向山代表



小幡事務局長



團野次長



國弘支社長



住山本部長



船川副代表



那須会長

めていくこと、そして、神戸地本として忘れてはならない明石〜朝霧駅間の触車死亡労災事故から間もなく24年が経過することを受け、労災減少も含めた世界一安全な鉄道会社にしていく不退転な決意を述べた。

会社の状況については、労働環境において人口減少と労働力不足を想定した会社施策に対し、現場の声をもとに議論し、改善を図っていききたいと述べた。

最後に、大阪・関西万博を起爆剤として、将来に安心と希望の持てる企業とすべく、邁進していく決意で挨拶を締めくくった。



川原副委員長



尾崎部長

その後、来賓として、県産業労働部福祉課 團野産業労働部次長、連合兵庫 那須会長、兵庫県交運労働協 小幡事務局長、立憲民主党兵庫県支部連合会 船川副代表、国民民主党兵庫県総支部連合会 向山代表、こくみん共済COOP兵庫推進本部 住山本部長、明治安田生命生命保険相互会社 大阪公法人部長、近畿統括本部兵庫支社 國弘支社長、中央本部 尾崎情宣・文化レク部長よりJR西労組連帯や激励の挨拶を受けた。

参加した組合員は、安全に対する決意を新たに、1年間の取り組みについて議論を深めた。

集いの前段には同会場において、中央本部 川原副委員長、尾崎情宣・文化レク部長、川西教育部長、梅岡組織業務部次長を来賓に迎え、「阪神淡路大震災から30年を迎えて」と題して、特別講義を開催した。講師の川原副委員長より震災発生後のJR西労組の取組みやJRグループ一体となった早期復旧について説明があり、阪神淡路大震災、福知山線列車事故、明石〜朝霧駅の触車事故を経験していなくても皆さんが聞いたことを語り継ぎ、安全な鉄道を作っていききたいと呼びかけた。

明石〜朝霧駅間触車死亡事故から24年

**第28回 JR 京都駅ビル 大階段駆け上がり大会 出場選手決定!**

2025年2月22日(土)、JR 京都駅ビルにおいて、春闘の前哨戦となる「第28回 JR 京都駅ビル大階段駆け上がり大会」が開催されます。神戸地本からは以下の4名の方が出場されます。

<b>一般の部</b>	<b>45歳以上の部</b>
時吉 啓暢さん (姫路保線区分会)	島津 郁紀さん (姫路運輸分会)
栄喜 翔太さん (明石車掌区分会)	森田 恵美さん (姫路列車区分会)

女性の部

選出分会皆様の応援よろしくお願いします!!

大内委員長、石原書記長は、2001年に発生させた明石〜朝霧駅間触車死亡労災事故から24年を迎えた、1月24日(金)、中央本部 川原副委員長、川原副委員長、杉野賃金対策部長、川西教育部長と共に、事故現場において献花を行った。二度とこのような悲惨な事故を起こしてはならないという決意を胸に手を合わせた。

また、事故現場訪問に合わせて、西明石管理室の安全の碑へも献花を行った。

【現場略図】

【事故概況】

2001年1月24日9時34分頃、山陽線明石・朝霧駅間の朝霧川橋梁上り電車線において、線路内で現地調査を行っていた保線係員が姫路発米原行の快速電車(電第736T)に衝撃し、命を落とした。事故後、5秒ルール(1.2.3の順番で線路内に立ち入った)の制定などの安全対策が講じられた。

二度と悲惨な事故を引き起こさない 決意を胸に手を合わせた